高病原性鳥インフルエンザ 鹿児島県で発生(今季10例目)

11月19日に鹿児島県の家きん飼養農場から鶏がまとまって衰弱、死亡していると通報があり、検査の結果、本日、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜と決定しました。

発生農場:鹿児島県出水市 採卵鶏 約12万羽飼養

10月17日に今季初めての発生が道内で確認されて以降、昨シーズンより早いペースで発生が続いています。

道内では野鳥等からの検出も続いています(14例)ので、農場周辺にウイルスが残存している恐れもあります。

飼養家きんを守るため、以下の対策を徹底し、本病に嚴重警戒してください。

～ 対策の継続強化 ～

- 1 防鳥ネット、金網、壁、屋根等の点検・補修
- 2 集卵・除糞ベルトの開口部の隙間対策
- 3 排水溝等からの野生動物侵入防止対策
- 4 ネズミ駆除(殺鼠剤、粘着シート等)
- 5 鶏舎立入時の消毒、着替え、履き替え
- 6 異常家きんの早期発見・早期通報
- 7 毎月の自己点検と改善

北海道空知家畜保健衛生所

☎0126-22-4212 ④www.sorachi.pref.hokkaido.lg.jp/ds/khe/

時間外、閉庁日の緊急通報は、空知総合振興 ☎0126-20-0200(繋がるまで呼び出してください)